

ノラの悪い日



Level 3

JAPN 1231: Tadoku: Extensive Reading

Spring 2024

Written by Bella Goodnight

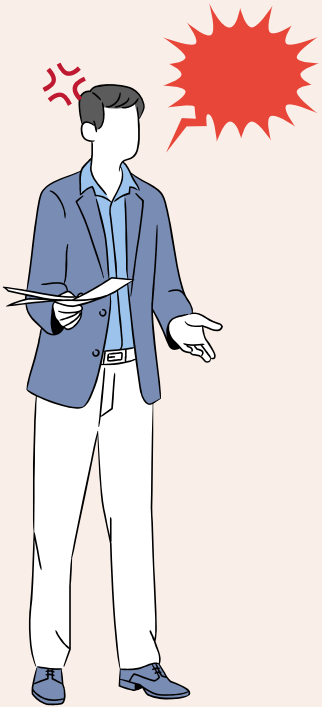
Designed with Canva

わる

かれし

ひとばんじゅう

今日は、ノラにとって悪い日です。昨日、ノラは彼氏にふられたから、一晩中ノラは泣いて、全然寝ませんでした。今朝、仕事に行きながら、とても眠いからコーヒーを飲みたいです。でも、買った後で、自分でこぼしてしまいました。綺麗にしてみたいけど、服にまだ染みがありました。そして、綺麗にしてみているから、仕事に遅れて着きました。もちろん、ノラの上司は怒って、ノラを怒鳴りました。本当に悪い日ですね。



いちにちじゅう

一日中、ノラはふまんな感じがありました。

仕事後、ノラは帰り始めたけど、まだ悲

しくて、ふまんでした。歩きながら、突然、

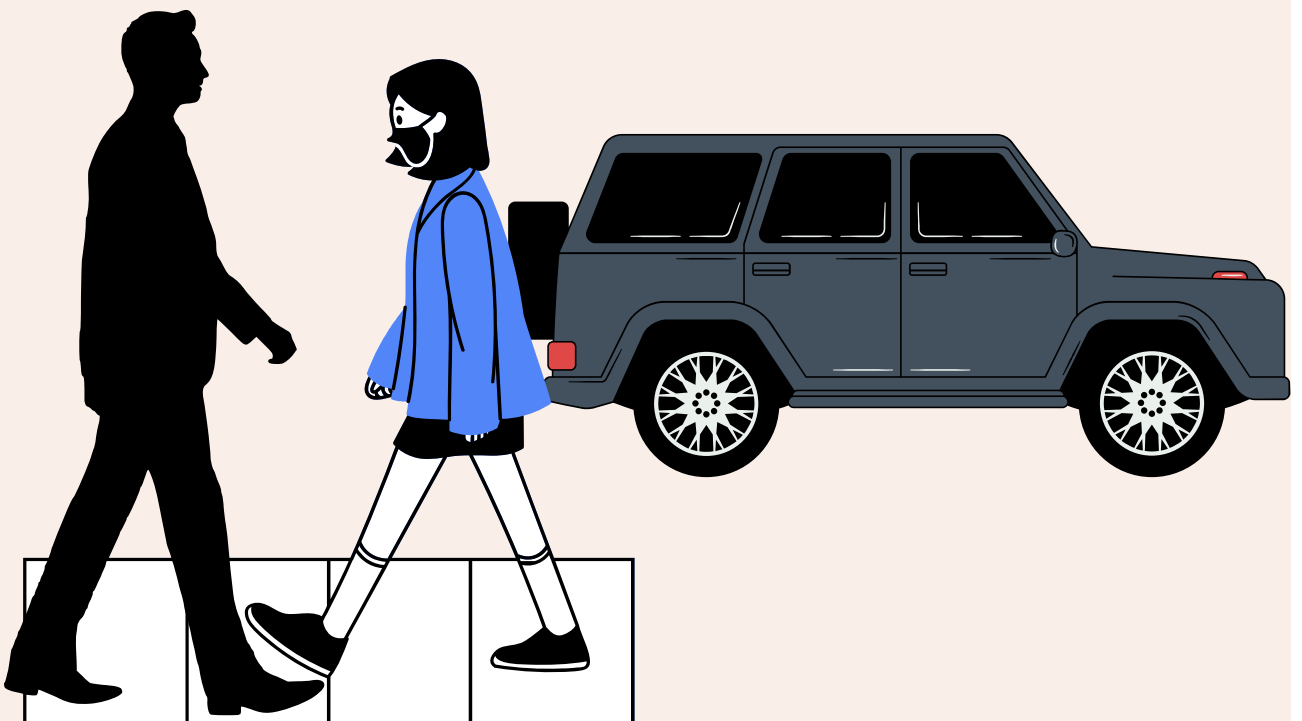
誰かがノラにぶつかりました。その人に怒鳴

る前に、彼は静かに「すみません。」と囁き

ました。それから、その人は早く周りを見回

して、ノラの腕をつかんで、車の後ろにか

くれました。



ノラはびっくりして、「えええー何ですか。」と聞きました。でも、その人は答えませんでした。ノラはもっと怒ったけど、五分ぐらい後、その人は遂に「ごめんなさい、僕は探偵です。あそこで、

あの人が見えますか。」と言いました。

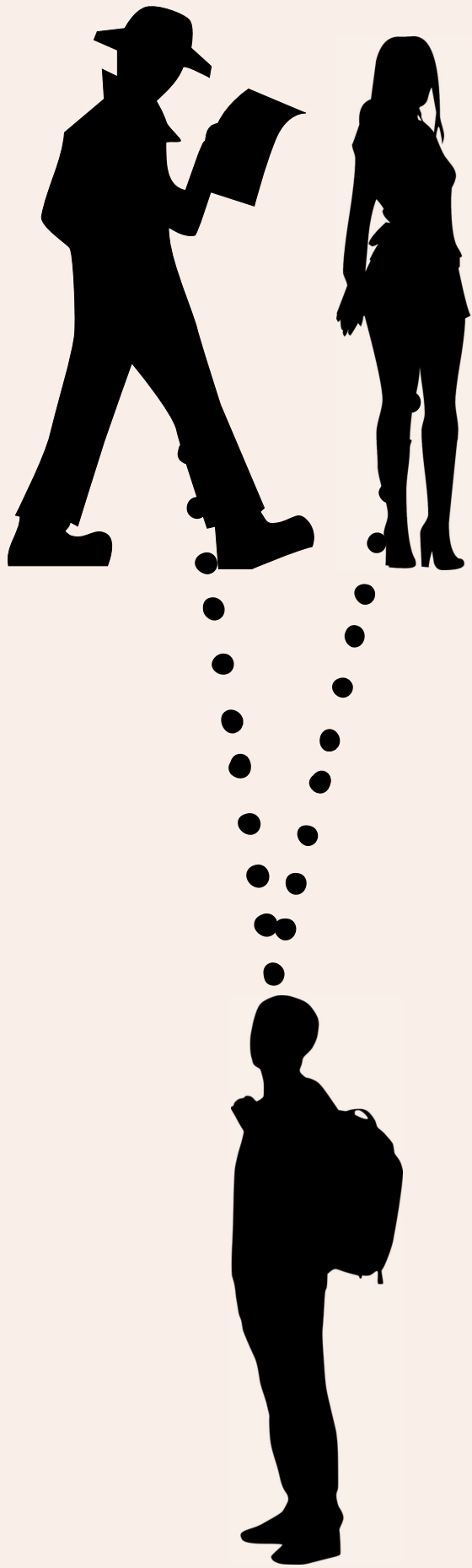
ノラは「はい」と答えました。

「私が取り組んでいる事件の犯人は

彼だと思えます。でも、まだ証拠はありません。

だから、見なければなりません。」





「わああ、かっこいいです！でも、どのぐらい見ていますか。」

「一日中」

「一日中ですか。つまらないじゃないですか。」

「そうですね。あまりつまらなくないです。たんでい探偵しんぼうだったら、辛抱を

しなければいけません。」

しんぼう

かんが

ノラは辛抱について考えました。「今日はあまり辛抱できないね。もっと辛抱できれば、しあわ幸せになるかな。」と思いました。しばらく見た後、ノラは

「すみませんけど、そろそろ家に帰らなければなりません。」と言いました。

たんでい

探偵は「あ、もちろん。ごめんなさい！」と言いました。

やくた

「いいえ、いいえ！これは役に立ちました。」





ノラは家に帰り続けました。ちよつと綺麗な散歩したいから、森の中の

小道に行きました。自然にいるのが安らかだけど、すぐに変な感じを感じ

始めました。ノラは後ろを振り返って、カラスを見つけました。また
びっくりしました。でも、歩きました。

まだ静かな足音が聞こえました。

ノラはまた振り返^ふって、カラスに「ついて来ないでください。」と言いました。

ノラは歩き始めながら、「いいえ」と聞こえました。

早く周^{まわ}りを見回^{みまわ}して、「誰^{だれ}が言っているの？」と思いました。

でも、カラスだけいました。カラスは笑^{わら}い音^{おと}のように

「カーカーカー」と鳴^なきました。

ノラは「やめて、カラスさん！」と言いました。

でも、またカラス「いいえ」と答^{ねが}えました。

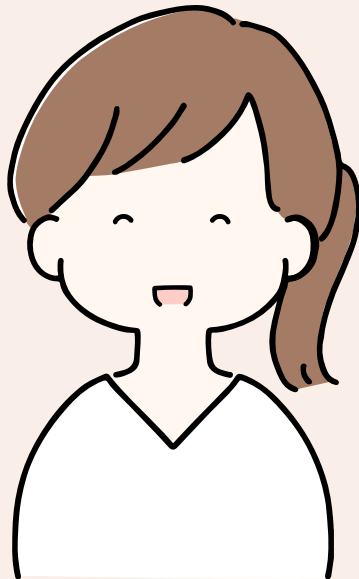
「お願い」

「いいえ！カーカー」

この日はじめて、ノラは笑いました。

目^{なみだ}に涙^{なみだ}がでるまで、笑いました。





ノラは笑いながら、歩き続けました。最終的に、カラスはノラを追うのを
やめました。でも、ノラは考えました。「カラスが「いいえ」と言えるなら、
私も言える」と思いました。仕事でもっと勇気を出すのを決めました。

さいしゅうてき

ゆうき

だ

き

お



まんめん え

森を歩いているうちに、ノラは満面の笑みでした。ノラのアパートの前に、

かお

人がいたけど、ノラはこの人の顔を見えませんでした。家には入ろうとした時、

こえ

「ノラ？」と言う声が聞こえました。すぐにノラはこの人が誰か分りました。

わか

こども ころ

しんゆう

かのじょ

だ

「ミミ！」と言いました。ミミはノラの子供の頃の親友です。彼女たちは抱

あ

き合いました。



「元気？」

「うん！ノラは？」

「今、もっと元気になっているよ。」

しばらく話した後で、ミミは「ねえ、海の旅行うみ りょこう

覚おぼえているの？いつもノラと楽たのしみましたね」

と言ないました。ノラは「本当に楽たのしかった！

長ながい間あいビーチに行いっていない。。。と言ないました。

「そろそろ一いっしょ緒しょに行いこう！」

「うん！ぜひ！」

ノラは家に入いって、子供の時楽たのしかったことについて考えました。

「もっと楽しいことをしたい」と思おもいました。

「実は、来週は遊園地ゆうえんちに行くかもしれない！」



今、ノラは幸せしあわでした。面白いキャラクターおもしろを考えて、

笑顔えがおが止まりませんでした。もっと辛抱しんぼうしてみてください、

「いいえ」を言ってみて、よく楽しんでみるようにしていました。

ノラはシャツを見下ろみおして、びっくりしました。コーヒーの染みしみ

を忘わすれていました。実際じっさいに、ノラは今朝の悪いことを全部忘ぜんぶれ

てしまいました。その夜よるノラは新しい人みたいに寝ました。

